

「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 3 年 4 月 7 日

事業名称		清原図書館事業費 [清原図書館の運営]									
予算科目	款 10	教育費	項 4	社会教育費	目 3	図書館費	事業番号	4			
事業の種別	☒ 市単独 ☐ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	中央図書館		課	清原図書館			係	課長名	浴 靖子		
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。							施策番号	1 - 2			
【施策名】 生涯学習の充実							総合計画書 (ページ)	35			
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。			① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)							
	市民			市の人口 → (令和3年4月1日現在)							
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]			② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)							
	読書意欲を喚起する			貸出冊数 →							
2 指標の推移	③ そのために何をしましたか。			③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)							
	新刊、リクエストがあった本の購入。人気があり、利用が多く、その結果傷んだ本の買い替え。内容が古くなった資料の更新。			図書・雑誌購入冊数 →							
3 経費			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標				
				平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標			
	対象指標	①の数値	人	85,337	85,266	85,294					
	成果指標	②の数値	冊	128,279	115,735	95,114					
	目 標	②の目標値									
4 環境変化等	活動指標			③の数値	冊	3,098	4,100	4,001			
	事業費(実績)		円	7,758,753	7,425,195	7,279,048	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、 8,380,000円 時間単価は、 4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	財源	一般財源	円	4,357,543	4,565,749	4,583,189					
		特定財源(国・都・他)	円	3,401,210	2,859,446	2,695,859					
		(うち受益者負担)	円								
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	2.0	2.0	2.0					
		所要人数(再任用)	人								
		職員人件費(再任用以外)	円	16,488,000	16,620,000	16,760,000					
職員人件費(再任用)		円									
事業費+人件費		円	24,246,753	24,045,195	24,039,048						
(1) 開始年度 平成19 年度											
(2) 環境の変化 「第二次東大和市子ども読書活動推進計画」の制定により、児童サービスや学校等との連携の充実が一層求められている。開館日の増などのサービス拡充に向けて、図書館条例の改正など、指定管理者制度導入への具体的な検討・作業が進んでいる。また新型コロナウイルス感染症への日常的な対策を実施しながらの運営が求められている。											

事業名称	清原図書館事業費 [清原図書館の運営]			
担当部署・課長名	中央図書館	課	清原図書館	係 課長名 浴 靖子

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和2年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について ●開館日、開館時間の拡充について ●図書資料や施設管理の衛生面の改善について ●図書館の基本計画について／図書館についてのビジョンを示すべきである。 ●指定管理者制度導入に対する十分な検討と情報の公開について			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）			
	☒ 取り組んだ ☐ 取り組まない	取組手法：③⑦ 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2)令和3年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点 図書館のボランティアは、どの分野においてもある程度の専門技能が必要であるため、継続的な育成が必要である。			
7 課題	(1)令和2年度に課題とした内容（「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記） ①情報が古い資料の積極的な除架、および日常的な整架により書架環境の維持を図る。 ②新鮮な展示テーマの開拓や、案内黒板等の活用により、読書意欲の向上を図る。 ③学校、学童、保育園、幼稚園との連携。見学の受入れや図書館情報の提供により、読書環境を醸成する。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和2年度に実施したこと。 ●毎朝優先的に整架する時間を設け、書架環境の維持に努めた。 ●古い資料の更新とともに、利用動向、社会動向を注視しながら、新規図書を購入した。。 ●案内看板やディスプレイを工夫しつつ、テーマ展示を積極的に展開した。 ●学校等の見学を受入れた。 ●返却資料の消毒や閲覧席へのパーテーション設置など、利用者が安心して利用できる環境の醸成に努めた。			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） ①古い資料の積極的な除架、及び利用動向を鑑みた新規図書の購入により、時代の変化に沿った書架環境を確立する。 ②斬新な展示テーマの開拓や、案内黒板等の活用により、読書意欲の向上を図る。 ③学校や幼稚園等へ図書館情報を積極的に提供し、子供たちの読書環境を醸成する。 ④資料や館内の消毒作業を継続し、利用者が安心して来館できる環境を確立する。			
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名：生涯学習の充実 ☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名（ ）			
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） ☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 【取組内容】 ●図書の購入にあたり、常に書架及び利用動向、社会動向を注視する。 ●開館当初からある蔵書の精査など、内容の古くなった資料の更新を行いつつ、将来への財産として残す蔵書にも配慮する。 ●利用者からのリクエストに誠実に対応しつつも、特定の分野に資料が偏らないよう留意する。 ●第3木曜日の定期休館日は、極力書棚の維持管理に時間を割く。 ●新型コロナウイルスの感染対策を継続し、利用者の不安感を取り除く。			
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 ①整架・除架等書架維持管理にあてる時間の確保。 ②展示コーナー、館内案内黒板等の有効な活用。読書意欲を高めるさらなる工夫。 ③新型コロナ感染対策に配慮しながら、学校・保育園・幼稚園と連携し、本の魅力を広める。 ④指定管理者制度への移行を念頭に、館内の整理を進める。			